

選ばれたら売れなくなると噂の流行語大賞！
最近の大賞と受賞者を大追跡。ホントに売れなくなるのかな？
2016 年は？そして 2017 年はどんな年になるのでしょうか？

2015 年

「爆買い」ー日本最大の免税店社長・・・甲賀市でも爆買いの目撃情報あり！

「トリプルスリー」ー山田哲人選手（ヤクルト）

① ③ /

・・・2 年連続トリプルスリー達成！
柳田悠岐選手（ソフトバンク）

2014 年

・・・今年は終盤ケガに泣く。

「ダメよ～ダメダメ」ー日本エレキテル連合（お笑いコンビ）

「集団的自衛権」ー受賞者辞退

・・・今は何をする人ぞ？！

2013 年

・・・トランプ大統領就任で再燃？！

「今でしょ！」ー林修先生（東進ハイスクール講師）



2012 年

・・・いまや TV で見ない日はない！

「ワイルドだろお～」ースギちゃん（お笑い芸人）

2011 年

・・・まだまだしぶとく奮闘中！

「なでしこジャパン」ー日本女子サッカー代表チーム

・・・キャプテン澤選手は、めでたくご結婚。

トショブラ♥ ～ビブリオバトル in Koka～

みなさんはビブリオバトルって知ってますか？自分がおもしろいと思った本を持ち時間 5 分で紹介し、投票で一番読みたくなった本＝チャンプ本を決める知的書評合戦です。甲賀市でも今年の図書館まつりで初ビブリオバトルを行いました。（初代チャンプ本は奥田英朗さんの「イン・ザ・プール」でした♪）全国規模で盛り上がっているビブリオバトル。今後も各図書館での開催を予定しているので、あなたも参加して愛読書の魅力を熱く語ってみませんか？！

発行：甲賀市図書館

水口図書館：63-7400 土山図書館：66-1056

甲賀図書館情報館：88-7246 甲南図書交流館：86-1504

信楽図書館：82-0320

ホームページ：<http://lib.city.koka.lg.jp/>



vol.4

2016.Winter

Koka City Library

ヤングアダルト（Young Adult）とは、13 歳から 19 歳の世代の人たちに対して使われている言葉で、「若いおとな」という意味です。甲賀市図書館ヤングアダルト通信『ホンマニ！』では、ヤングアダルト世代のあなたに、おすすめの本を紹介します。

この冬おすすめ この 1 冊



恋人がいなくても、現実がつらくても、心の中に大事に思っているものがあれば、それがアニメでも、アイドルでも、溺れそうな時にしがみつけるものを持つ人は幸せなはずだ。

『ハケンアニメ！』

辻村 深月／著 マガジンハウス

伝説の天才アニメ監督と仕事をする夢が叶ったプロデューサーの有料香屋子は、「この作品を覇権アニメにしてみせる」と意気込む。しかし、肝心の監督が失踪した！

一話 30 分の裏側に何百人ものスタッフに関わるアニメ製作では、いつでもどこでもトラブルが起こっている。しかし目指す先はただひとつ“いい仕事”をすること！

一人でも楽しむことができるアニメやマンガに否定的な人は、いつの時代も一定数いるのかもしれない。それでもやはり、熱い思いが込められた作品は、明日を生きる力になると確信する 1 冊です。

●心が折れない生き方とは

『レジリエンス入門』

内田 和俊／著 筑摩書房



レジリエンスとは心の自然治癒力のこと。心の折れやすい時期は人生に2回あり、その1回目は思春期と呼ばれる年齢で、2回目は中年期の年齢。その2回目の年齢を経験した作者が実例を交えつつ、1回目の年齢を経験している人たちに生き方を教えるという応援の書です。多面的なものの見方によりレジリエンスをどう高め、人生に必ず訪れる困難や挫折をいかに乗り越えて成長できるか、について書いています。

●ある日、自分がバカだと気づいてしまった！

『自分はバカかもしれないと 思ったときに読む本』

竹内 薫／著 河出書房新社



ついにごまかしきれなくなり、とうとう認めてしまった…「私って、バカや」。そうすると「バカ気になる病」。バカの二文字が無性に目に付く。そんな時につけてしまったこの一冊。バカは周りの人につくられる？もしかしたら思い込んでいるだけなのかも？バカという事から抜け出した作者自身の実体験に基づいた話で、読んでみると「なんだか納得」。同じように「バカ気になる病」になりかけている人がもし居たら…この本、読んでみるのも良いかもしれない。

●里は楽園（パラダイス）

『里のいごこち』

松橋 利光／著 新日本出版社



幼い頃、通学路で見つけたトンボやカエル。夏休み、網を持って追いかけたバッタやセミ。真っ黒に光るカブトムシを見つけた時の嬉しさ、覚えていますか？山や川、自然と人の暮らしを繋ぐ「里」は多くの生き物が暮らす楽園です。生き物たちの楽園で、幼かったあの頃のこと、思い出してみませんか。里で生きる生き物たちの様々な姿を捉えた写真集です。部活・試験勉強、ちょっとくたびれた時、元気が出ますよ。

●30日間の運命の恋

『ぼくは明日、昨日のきみとデートする』

七月 隆文／著 宝島社



京都の美術大に通っていた南山高寿はある日、通学中に同じ電車に乗った女の子に一目惚れをする。自分が降りる予定の無い駅で降りた彼女を追いかけて声をかけ、交際することになった。彼女が時折流す涙を不思議に思いつつ、交際は順調に思われたが、実は彼女には重大な秘密が隠されていて…。今年映画化もされた、話題のファンタジー恋愛小説。

●世界最強のエージェントが異世界に転生って、チートすぎ!!

『ワールド・ティーチャー 異世界式教育エージェント』

ネコ 光一／著 オーバーラップ文庫



かつて世界最強のエージェントだった男が仲間のために命を落とし目を覚ますと、赤ん坊になっていた！？ゼロ歳からの異世界転生をしてしまった主人公のシリウスは前世での知識と経験をもとに、異世界では常識にとられない発想で、出会った人々に影響を与えていく。そして彼は、前世で果たせなかった『後継者育成』を目標に弟子を育てていく。シリウス自身も努力や創意工夫で試行錯誤を重ね力を身につけ、弟子とともに成長していく、異世界式育成ミッションここに始動！！

●お米を巡る、とっておきの物語

『生きるぼくら』

原田 マハ／著 徳間書店



母子家庭で育った麻生人生は、中高といじめにあい、ひきこもりだった。ある日、母は家を出て行った。残された年賀状から、人生は懐かしいマーサばあちゃんの名前を見つけ蓼科へ。そこで祖母と人生と血の繋がりのない孫つぼみとの奇妙な三人暮らしが始まった。みずみずしい水田と広大なハケ岳連峰を背景に、そこに住む温かくおらかな人たちとの出会いで、たくましく生きはじめた人生。母が託したたったひとつの「希望」に向かって。